

歩掛参考見積募集要領

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

令和7年1月14日

独立行政法人水資源機構
旧吉野川河口堰管理所
所長 犬童 眞二

1. 目 的

この歩掛参考見積の募集は、旧吉野川河口堰等大規模地震対策事業で予定している工事の積算の参考とするための施工歩掛等の見積を募集するものです。

2. 参考見積書提出の資格

- (1) 水資源機構における令和5・6年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。
- (2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3) 水資源機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成6年5月31日付け6経契第443号）に基づき、吉野川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

3. 参考見積書の提出等

参考見積書は、次に従い提出してください。

- (1) 参考見積書は、作業項目毎に必要な作業員、資機材の人数等を記載して提出して下さい。
なお、参考見積書の様式は問いません。
- (2) 提出期間：令和7年1月14日（火）から令和7年1月30日（木）まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前9時から午後5時まで
- (3) 提出先
独立行政法人水資源機構 旧吉野川河口堰管理所長 犬童 眞二 宛
【担当】事務グループ 辰田（たつだ）
〒771-0144 徳島県徳島市川内町榎瀬841番地
TEL 088-665-1435 FAX 088-665-1374
- (4) 提出方法
書面はメール、持参、郵送又はファクシミリ（社印があること）により提出するものとします。
- (5) 見積有効期限
見積有効期限は、令和8年3月31日までとしてください。

4. 参考見積内容

- (1) 別紙－1 見積仕様書
- (2) 別紙－2 見積記入様式（例）
- (3) 別紙－3 参考資料（図面）

5. 募集要領に対する質問

この募集要領に対する質問がある場合においては、次に従い、書面（様式は自由）により提出してください。

- (4) 提出期間：令和7年1月14日(火) から令和7年1月23日(木) まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前9時から午後5時まで
- (5) 提出場所：3. (3) に同じ。
- (6) 提出方法：3. (4) に同じ。

6. 質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供します。

- (1) 閲覧期間：令和7年1月27日(月) から令和7年1月30日(木) まで
- (2) 閲覧方法：ホームページに掲載します。

7. 参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とします。

8. ヒアリング

提出していただいた参考見積書についてヒアリングを実施することがあります。

9. その他

この参考見積書をご提出いただいたことで、工事の指名又は競争参加資格をお約束するものではありません。

ご提出いただいた参考見積書は、工事積算の目的以外には使用いたしません。

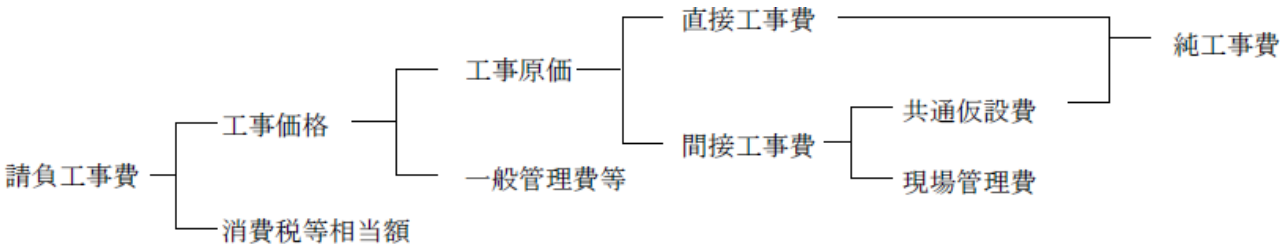
見積仕様書

1. 概要

この参考見積仕様書は、旧吉野川河口堰管理所管内の耐震補強工事の積算にあたり必要な施工単価等についての見積依頼に適用するものであり、間接工事費等については、独立行政法人水資源機構（以下「機構」という。）が定める「積算基準及び積算資料（土木工事編）」に基づくものとします。

2. 積算体系

本工事内容の構成は次の一般土木に準ずるものとします。今回の歩掛見積は次の直接工事費のうち、各耐震補強工法に係る作業に従事する作業員、資機材の人数等を見積徴取するものです。作業員の職種と定義については、「公共工事設計労務単価」によるものとします。



※一般管理費等とは、工事施工にあたる企業の継続運営に必要な費用をいい、一般管理費及び付加利益からなる。間接工事費は、①共通仮設費と②現場管理費からなり、①は運搬費、準備費、事業損失防止施設費、安全費、役務費、技術管理費、営繕費からなる。②は、工事施工にあたって、工事を管理するために必要な共通仮設費以外の経費とします。

3. 見積様式

見積様式は、自由です。見積の内訳は、別紙－２を参考にしてください。

4. 見積内容

- せん断補強鉄筋挿入工（RMA工法）
既設構造物（堰）の耐震補強をRMA工法にて実施するものとします。
見積は、RMA工法による施工を想定して1本あたりに必要な歩掛等を計上してください。
なお、施工に伴う資機材費及び部品等については、可能な限りそれぞれ計上してください。

5. 施工予定数量（参考）

- ・削孔径φ32, 削孔長 L=1855mm, 横向き・・・177 本
- ・削孔径φ22, 削孔長 L=3400mm, 横向き・・・5 本（転造ねじ継手を含む）
- ・削孔径φ16, 削孔長 L=3400mm, 横向き・・・5 本
- ・削孔径φ28, 削孔長 L=1860mm, 横向き・・・120 本

6. 見積有効期限

見積有効期限は、令和8年3月31日までとしてください。

以 上

せん断補強鉄筋挿入工(RMA工法)

削孔径φ32 削孔長L=1855mm 横向き
母材削孔、孔内清掃、削孔深さ確認、定着材浸漬、定着材挿入、鉄筋打込、硬化養生を含む
1本当たり

名称	単価	歩掛	備考
土木一般世話役	26,400 円	人	
特殊作業員	23,300 円	人	
普通作業員	21,900 円	人	
空気圧縮機 吐出量●●m3/min	円	日	
削岩機 質量●●kg級	円	日	
コアドリル 最大穿孔径φ●●cm	円	日	
定着材 無機系モルタルカプセル D22 L=1855mm	円	個	
鉄筋 SD345 D22 L=1800mm 先端斜めカット	円	kg	
雑費及び消耗品	一式	%	労務費の %
合計			

材料費

名称	単価
定着材 無機系モルタルカプセル D22 L=1855mm	円/個
鉄筋 SD345 D22 L=1800mm 先端斜めカット	円/kg

削孔径φ22,削孔長L=3400mm,横向き
母材削孔、孔内清掃、削孔深さ確認、定着材浸漬、定着材挿入、鉄筋打込、硬化養生を含む
1本当たり

名称	単価	歩掛	備考
土木一般世話役	26,400 円	人	
特殊作業員	23,300 円	人	
普通作業員	21,900 円	人	
空気圧縮機 吐出量●●m3/min	円	日	
削岩機 質量●●kg級	円	日	
コアドリル 最大穿孔径φ●●cm	円	日	
定着材 無機系モルタルカプセル D16 L=3400mm	円	個	
鉄筋 SD380 D16 L=3300mm 先端斜めカット 転造ねじ継手2箇所/本	円	kg	
雑費及び消耗品	一式	%	労務費の %
合計			

材料費

名称	単価
定着材 無機系モルタルカプセル D16 L=3400mm	円/個
鉄筋 SD390 D16 L=3300mm 先端斜めカット 転造ねじ継手2箇所/本	円/kg

削孔径φ16,削孔長L=3400mm,横向き
母材削孔、孔内清掃、削孔深さ確認、定着材浸漬、定着材挿入、鉄筋打込、硬化養生を含む
1本当たり

名称	単価	歩掛	備考
土木一般世話役	26,400 円	人	
特殊作業員	23,300 円	人	
普通作業員	21,900 円	人	
空気圧縮機 吐出量●●m3/min	円	日	
削岩機 質量●●kg級	円	日	
コアドリル 最大穿孔径φ●●cm	円	日	
定着材 無機系モルタルカプセル D13 L=3400mm	円	個	
鉄筋 SD390 D13 L=3300mm 先端斜めカット	円	kg	
雑費及び消耗品	一式	%	労務費の %
合計			

材料費

名称	単価
定着材 無機系モルタルカプセル D13 L=3400mm	円/個
鉄筋 SD390 D13 L=3300mm 先端斜めカット	円/kg

削孔径φ28,削孔長L=1860mm,横向き
母材削孔、孔内清掃、削孔深さ確認、定着材浸漬、定着材挿入、鉄筋打込、硬化養生を含む
1本当たり

名称	単価	歩掛	備考
土木一般世話役	26,400 円	人	
特殊作業員	23,300 円	人	
普通作業員	21,900 円	人	
空気圧縮機吐出量●●m3/min	円	日	
削岩機質量●●kg級	円	日	
コアドリル最大穿孔径φ●●cm	円	日	
定着材無機系モルタルカプセル D19 L=1860mm	円	個	
鉄筋SD345 D19 L=1800mm 先端斜めカット	円	kg	
雑費及び消耗品	一式	%	労務費の %
合計			

材料費

名称	単価
定着材無機系モルタルカプセル D19 L=1860mm	円/個
鉄筋SD345 D19 L=1800mm 先端斜めカット	円/kg

河口堰門柱耐震対策工事（仮称）

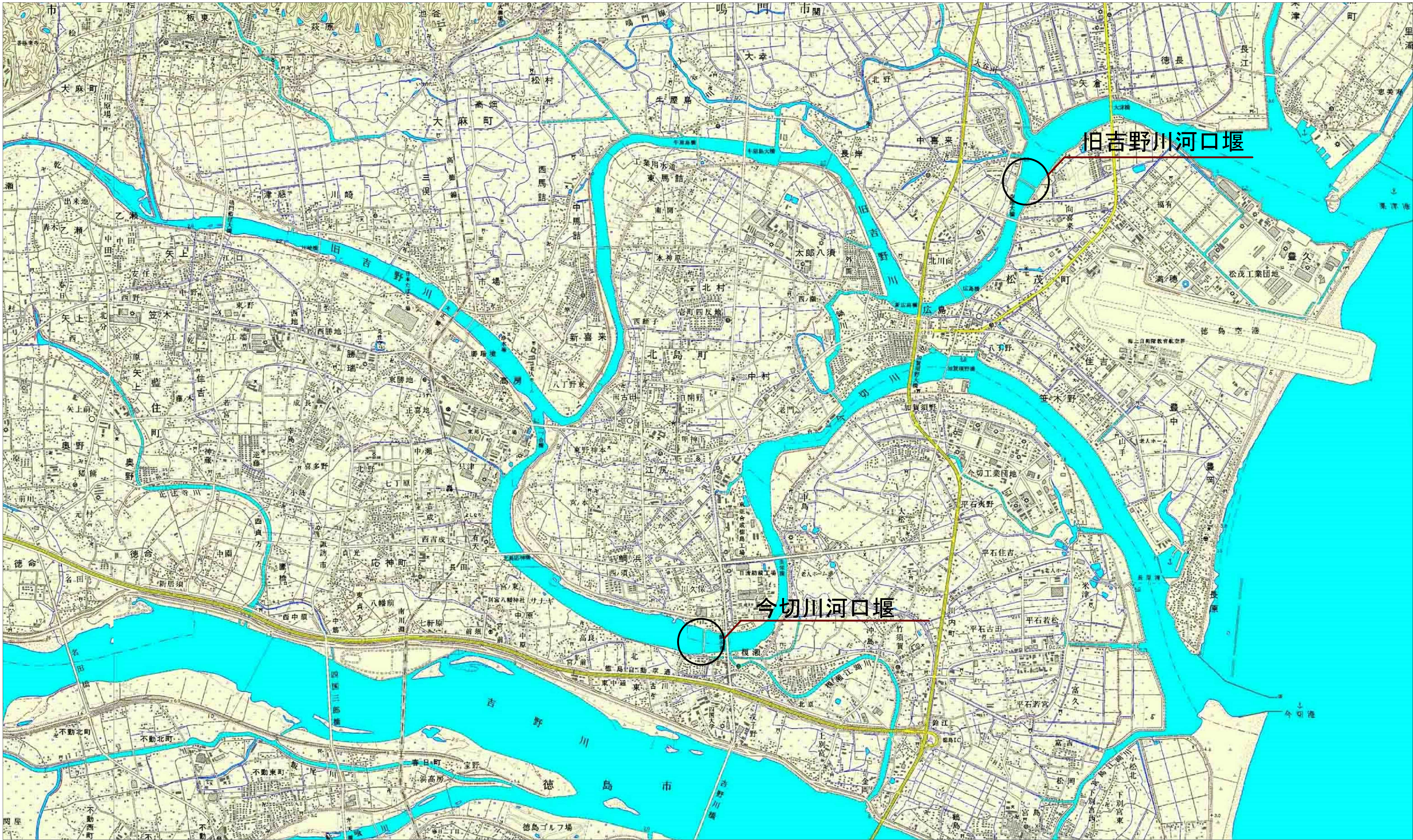
見積参考資料

令和 7 年 1 月

独立行政法人 水資源機構

旧吉野川河口堰管理所

位置図



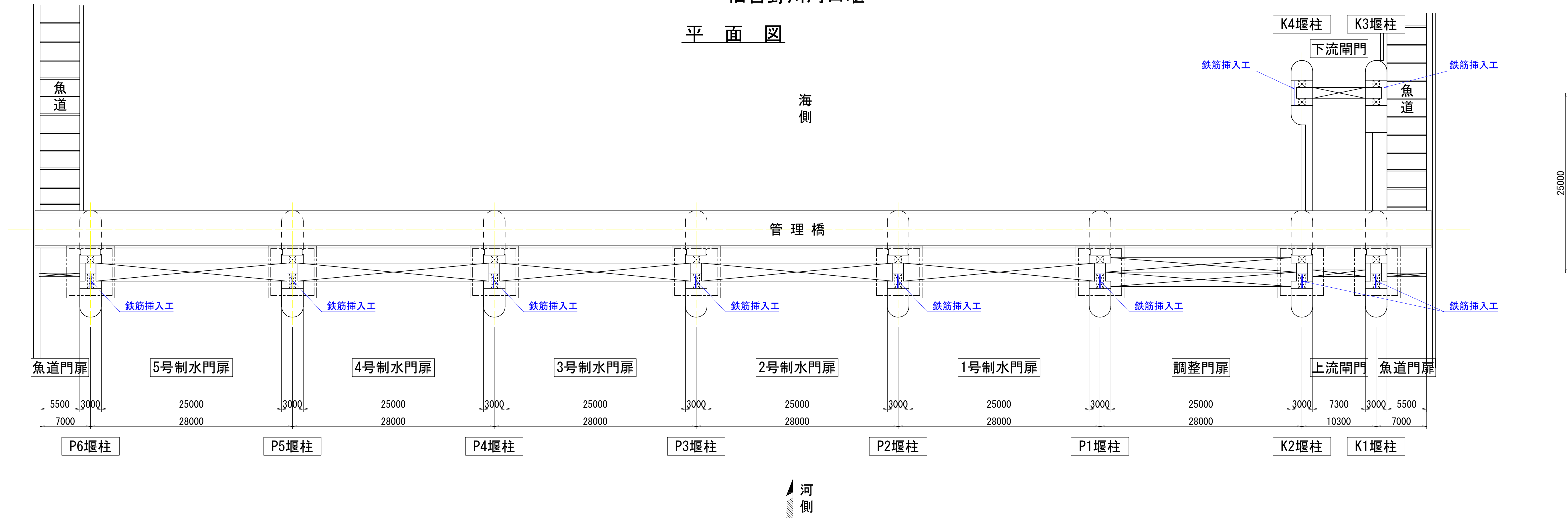
工事名 河口堰門柱耐震対策工事（仮称）	
名 称	位置図
登録番号	整理番号
独立行政法人水資源機構旧吉野川河口堰管理所	

平面図

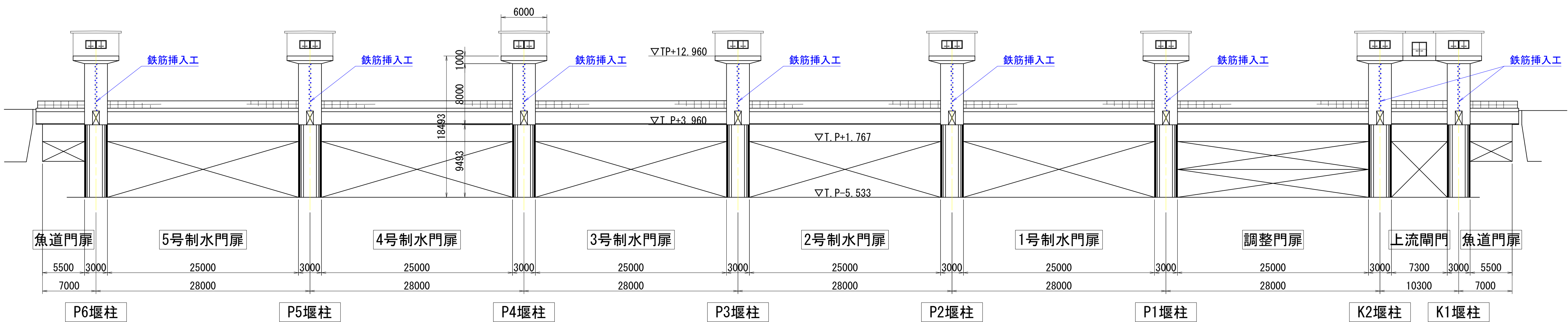
S=1:300

旧吉野川河口堰

平面図



正面図



旧吉野川河口堰

工事名 河口堰門柱耐震対策工事（仮称）

名 称 平面図

登録番号

整理番号

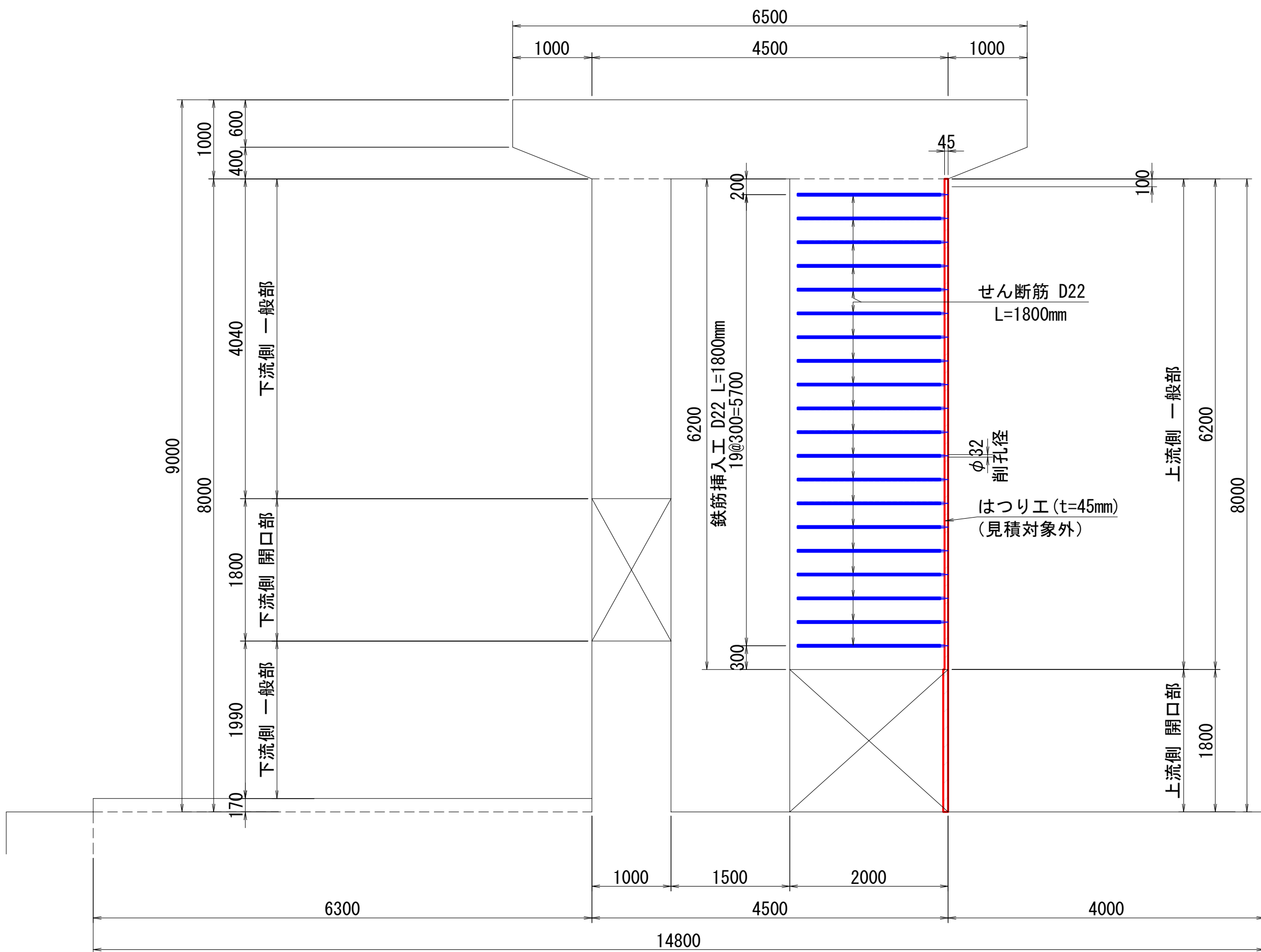
独立行政法人水資源機構旧吉野川河口堰管理所

上流閘門(K1・K2堰柱)補強詳細図 S=1:50

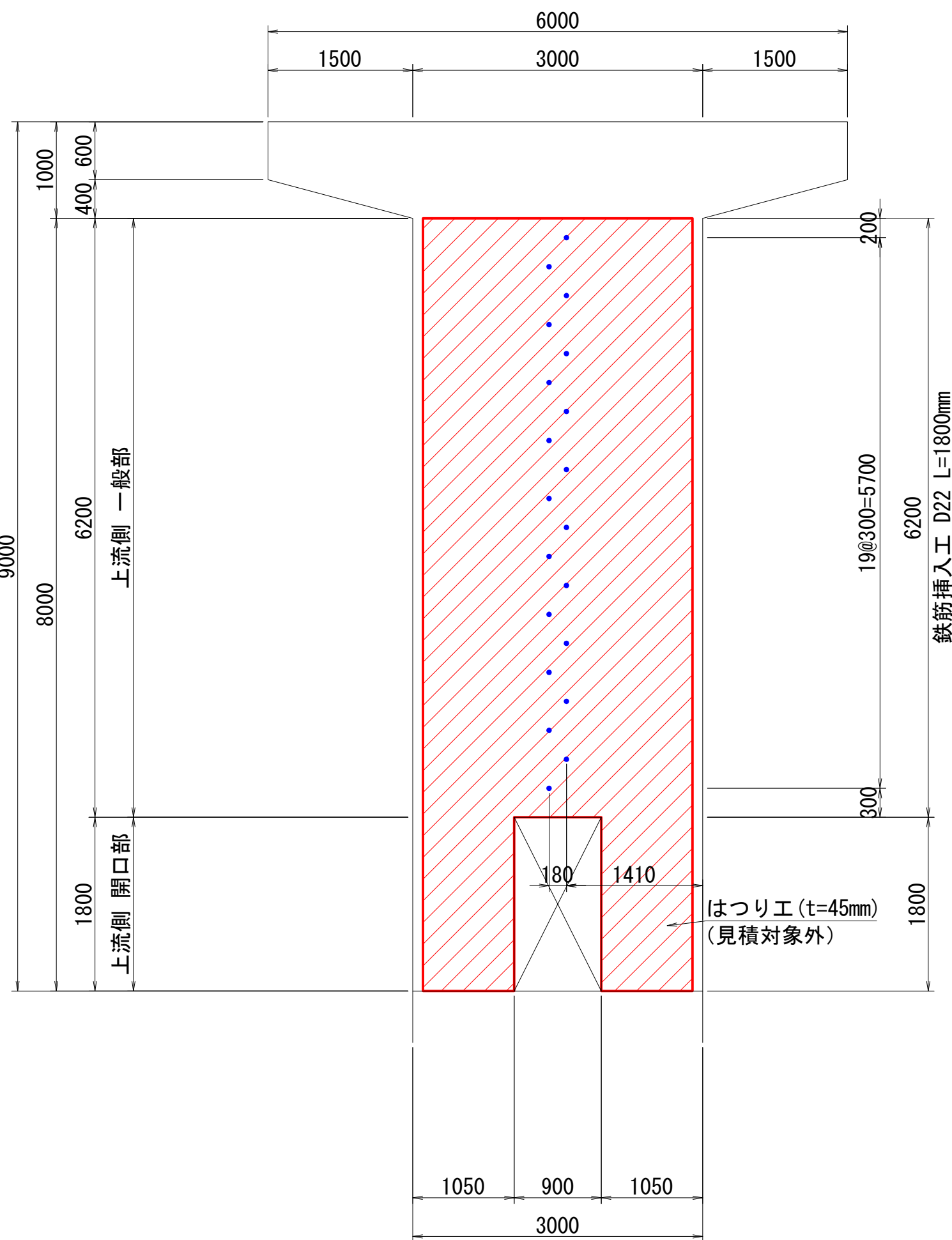
旧吉野川河口堰 門柱

A - A

B - B



水流方向



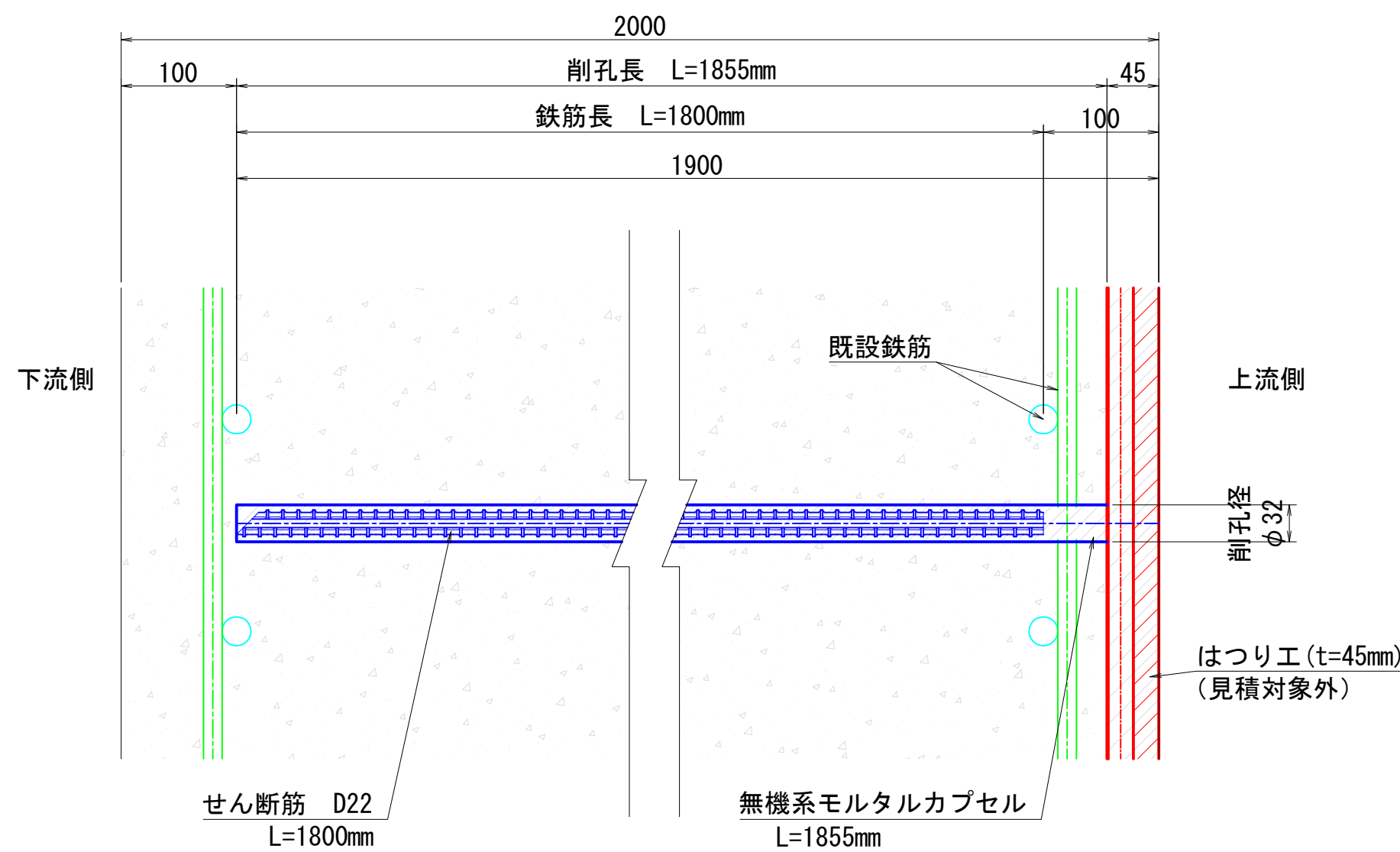
- 特記事項)
- 施工は鉄筋探索を行い、既設鉄筋の位置を確認の上で行うこと。
 - 削孔位置が既設鉄筋等に干渉する場合は、施工時に現場にて削孔位置を調整すること。
削孔位置を調整する場合は、以下の鉄筋間隔を守り、位置の調整を行う。
・門柱の鉄筋挿入工は、300mmピッチの間隔内に設置するものとし、水流直角方向に位置を調整すること。

凡 例

	はつり工（見積対象外）
	鉄筋挿入工

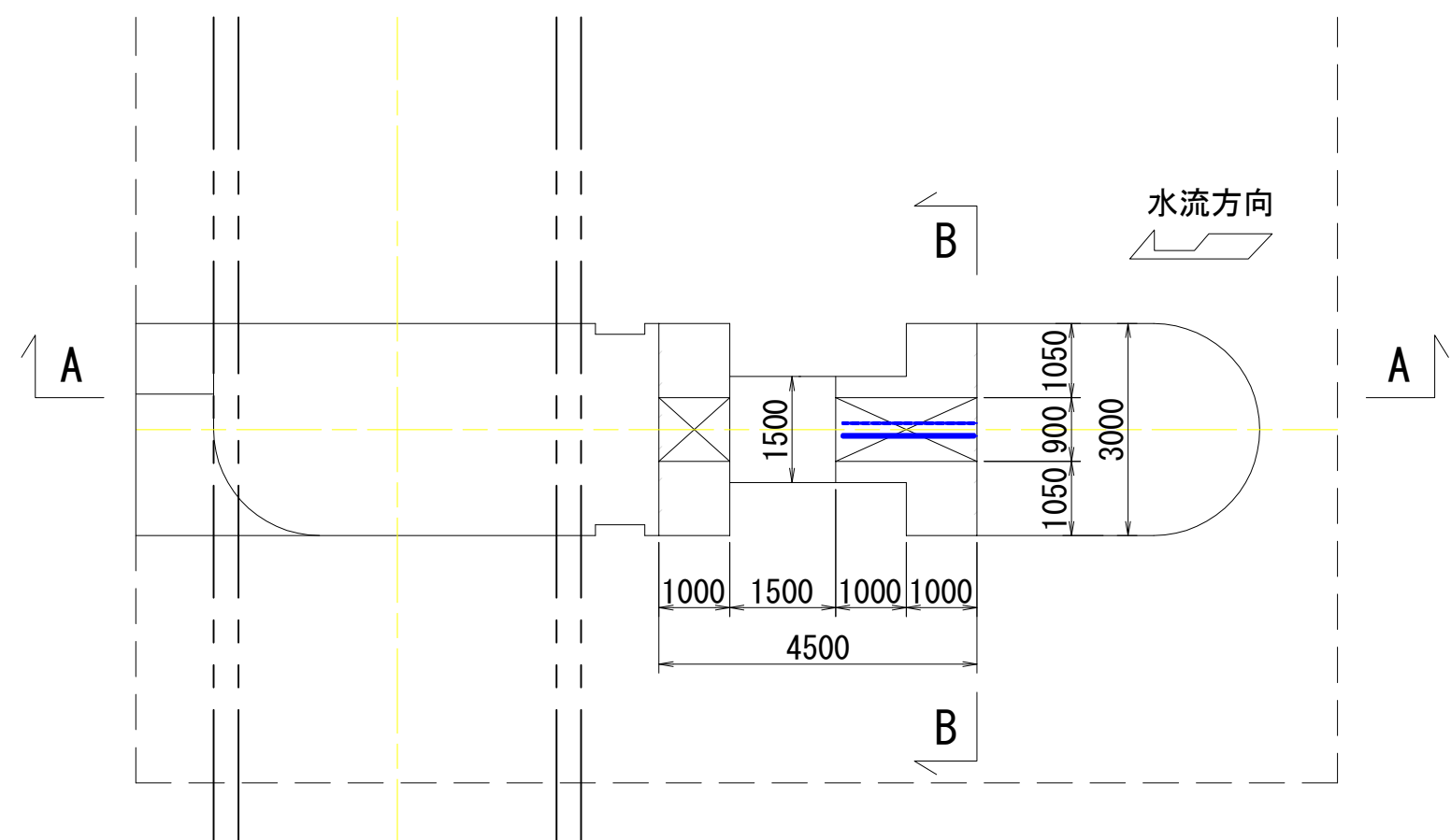
せん断筋設置詳細図

S=1:5



※本図面は、RMA工法による後施工せん断補強鉄筋を基に設計・作図している。工法変更を行う場合は、鉄筋径・本数の見直しを行うこと。
上流側の45mmは別件にてはつり工を行いますので、見積は、はつりされているものとして算出してください。

KEYPLAN



旧吉野川河口堰

工事名 河口堰門柱耐震対策工事（仮称）

名 称 上流閘門(K1・K2堰柱)補強詳細図

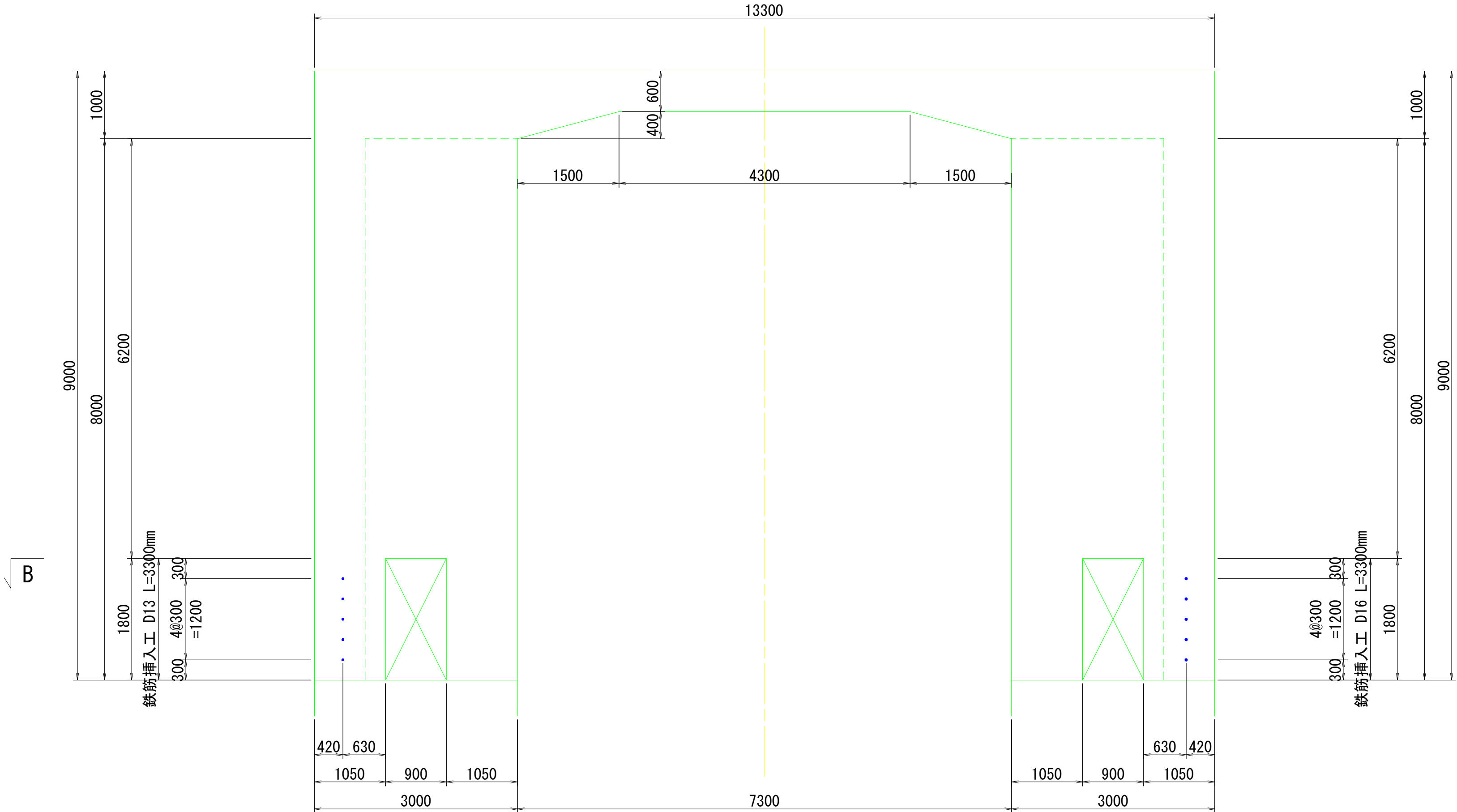
登録番号 整理番号

独立行政法人水資源機構旧吉野川河口堰管理所

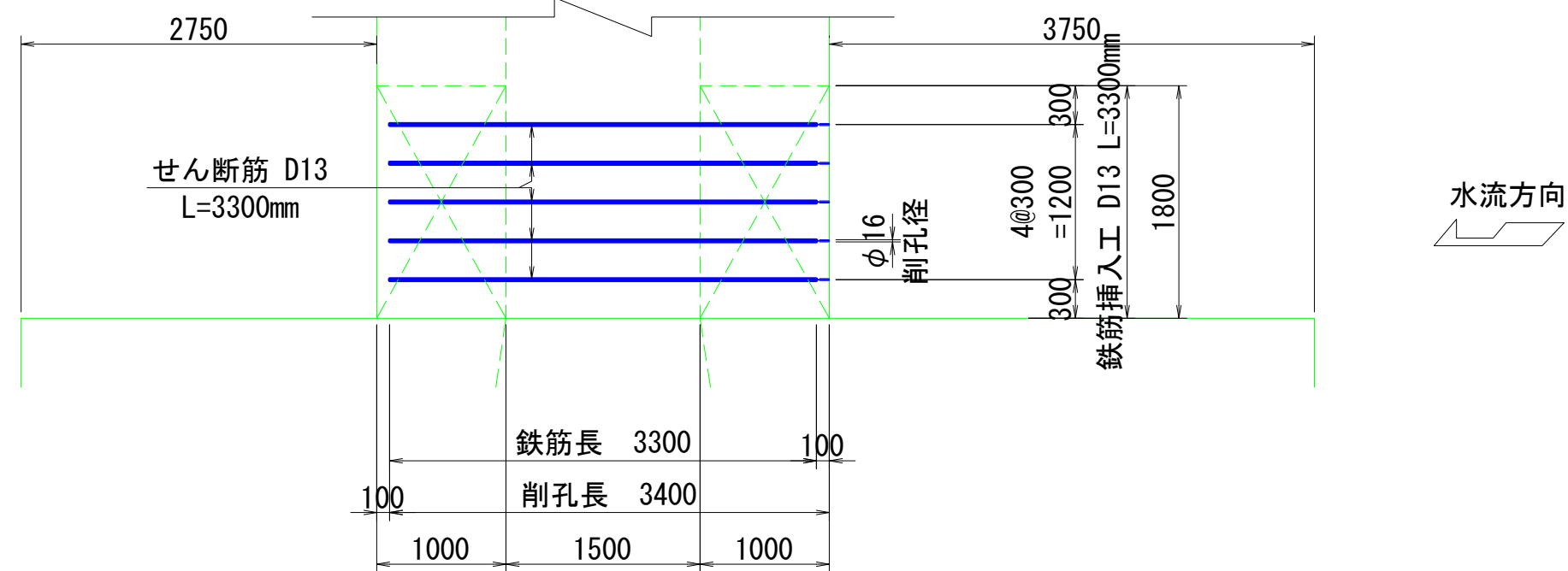
下流閘門 (K3・K4堰柱) 補強詳細図 S=1:50

旧吉野川河口堰 門柱

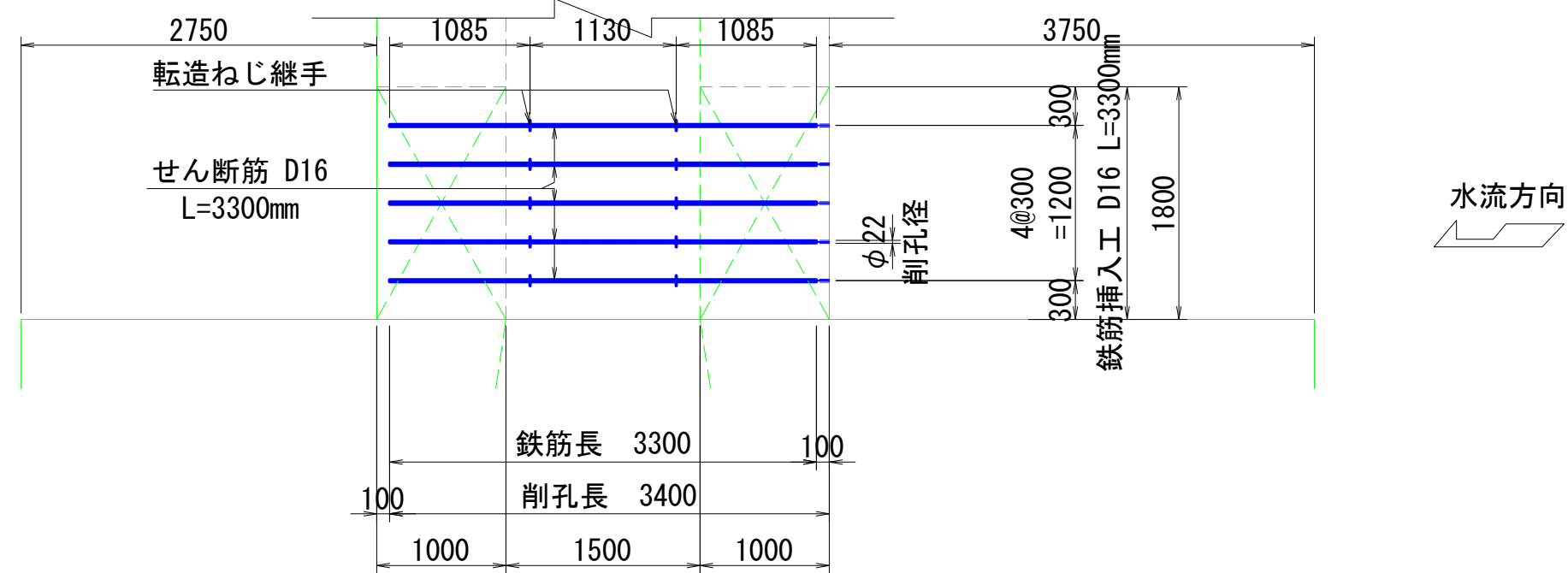
A - A



C - C

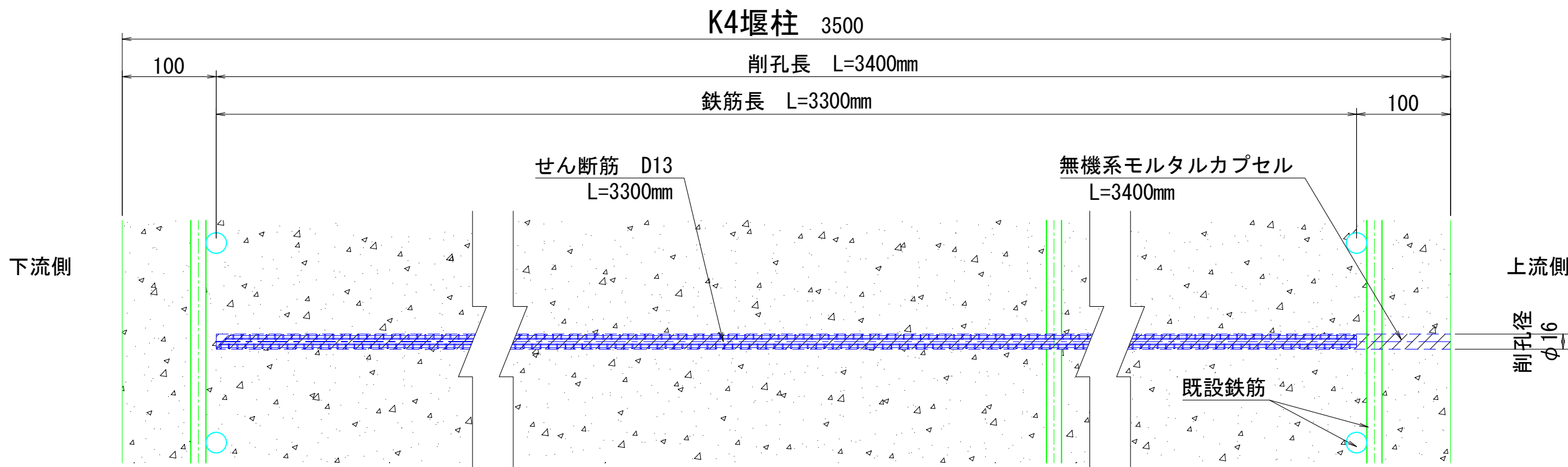
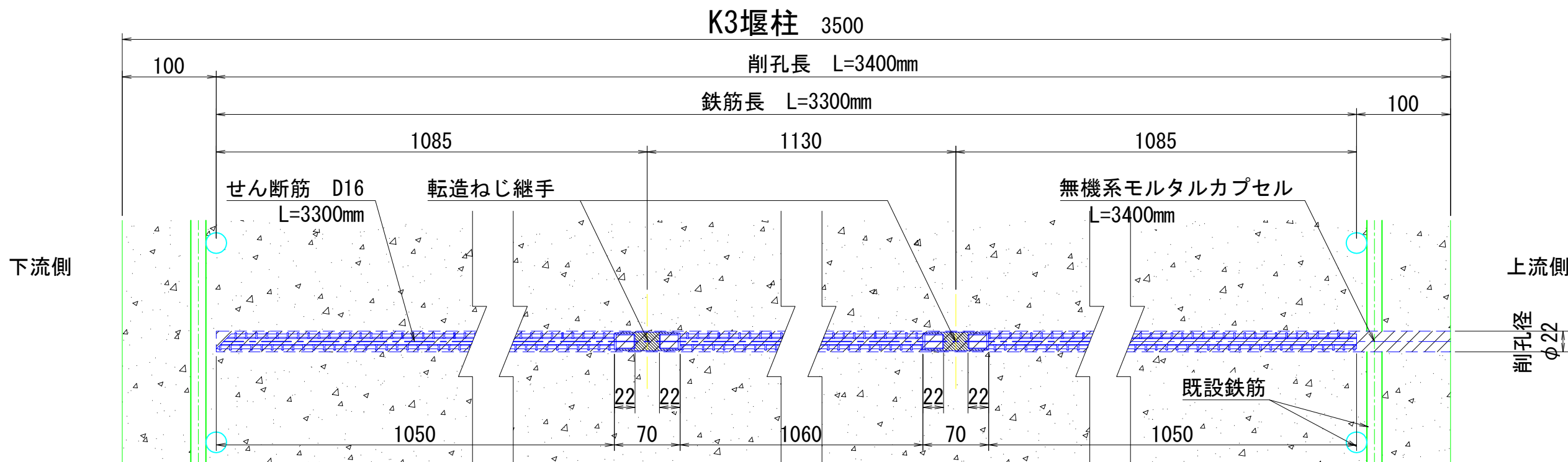


D - D



せん断筋設置詳細図

S=1:5



特記事項

1. 本図面は、RMA工法による後施工せん断補強鉄筋を基に設計・作図している。工法変更を行う場合は、鉄筋径・本数の見直しを行うこと。
2. 施工は鉄筋探索を行い、既設鉄筋の位置を確認の上で行うこと。
3. 削孔位置が既設鉄筋等に干渉する場合は、施工時に現場にて削孔位置を調整すること。削孔位置を調整する場合は、以下の鉄筋間隔を守り、位置の調整を行う。
 - ・門柱の鉄筋挿入工は、300mmピッチの間隔内に設置するものとし、水流直角方向に位置を調整すること。

旧吉野川河口堰

工事名 河口堰門柱耐震対策工事（仮称）

名 称 下流閘門 (K3・K4堰柱) 補強詳細図

登録番号

整理番号

独立行政法人水資源機構旧吉野川河口堰管理所

S=1 : 50

門柱

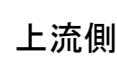


1. 施工は鉄筋探索を行い、既設鉄筋の位置を確認の上で行うこと。
2. 削孔位置が既設鉄筋等に干渉する場合は、施工時に現場にて削孔位置を調整すること。
削孔位置を調整する場合は、以下の鉄筋間隔を守り、位置の調整を行う。
 - ・ 門柱の鉄筋挿入口は、300mmピッチの間隔内に設置するものと、水流直角方向に位置を調整すること。
3. アンカー筋設置の際は、既設鉄筋に損傷を与えないよう注意すること。
4. 工事に支障となる添加物等は撤去を行い、補強対策後は適切に復旧すること。
5. せん断補強筋は既設コンクリート面に取付金具を用いて固定すること。
6. せん断補強筋の継ぎ手はエンクローズ溶接とし、継ぎ手鉄筋は千鳥配置とすること。
7. 鉄筋の加工は現地で計測後に行うこと。
8. 「PAE系ポリマーセメントモルタルを用いたコンクリート構造物の補修・補強に関する設計・施工マニュアル(案) 2023年5月」に規定されている材料及び施工方法と同等品以上とすること

凡 例

はつり工（見積対象外）

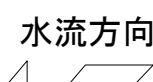
鉄筋挿入工

$$S=1:5$$


※本図面は、RMA工法による後施工せん断補強鉄筋を基に設計・作図している。工法変更を行う場合は、鉄筋径・本数の見直しを行うこと。

上流側の40mmは別件にてはつり工を行いますので、見積は、はつりされているものとして算出してください。

KEYPLAN



旧吉野川河口堰

工事名 河口堰門柱耐震対策工事

名 称 P1～P6堰柱補強詳細図

登録番号	整理番号
------	------

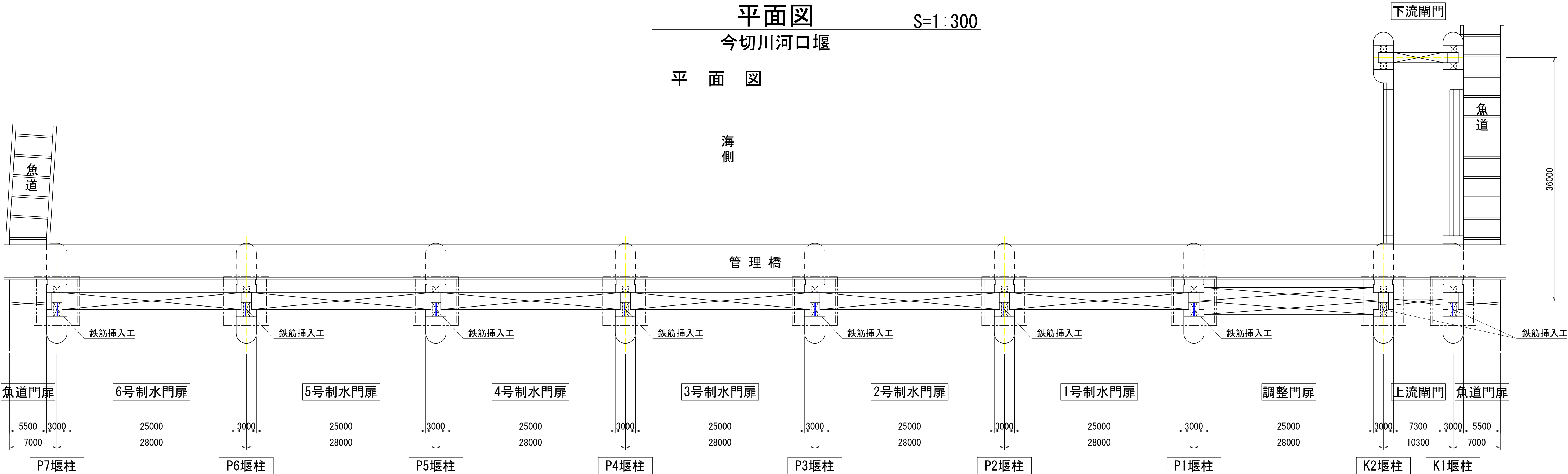
独立行政法人水資源機構旧吉野川河口堰管理所

平面図

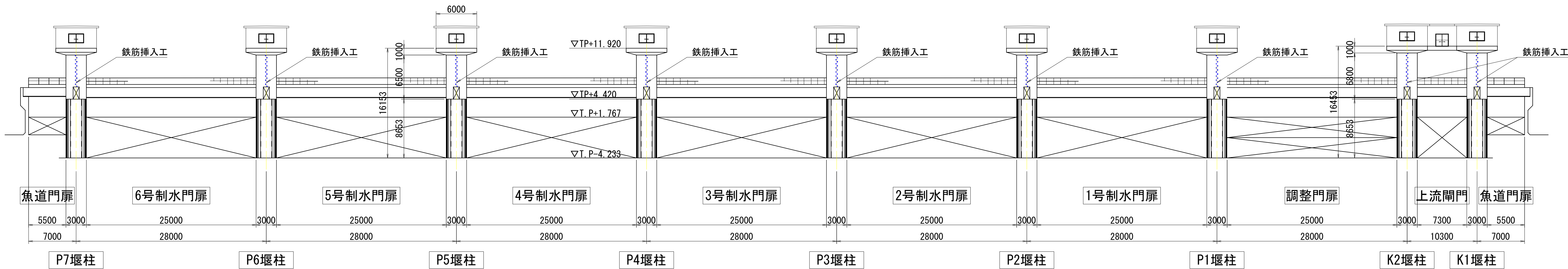
S=1:300

今切川河口堰

平面図



正面図



今切川河口堰

工事名 河口堰門柱耐震対策工事（仮称）

名 称 平面図

登録番号

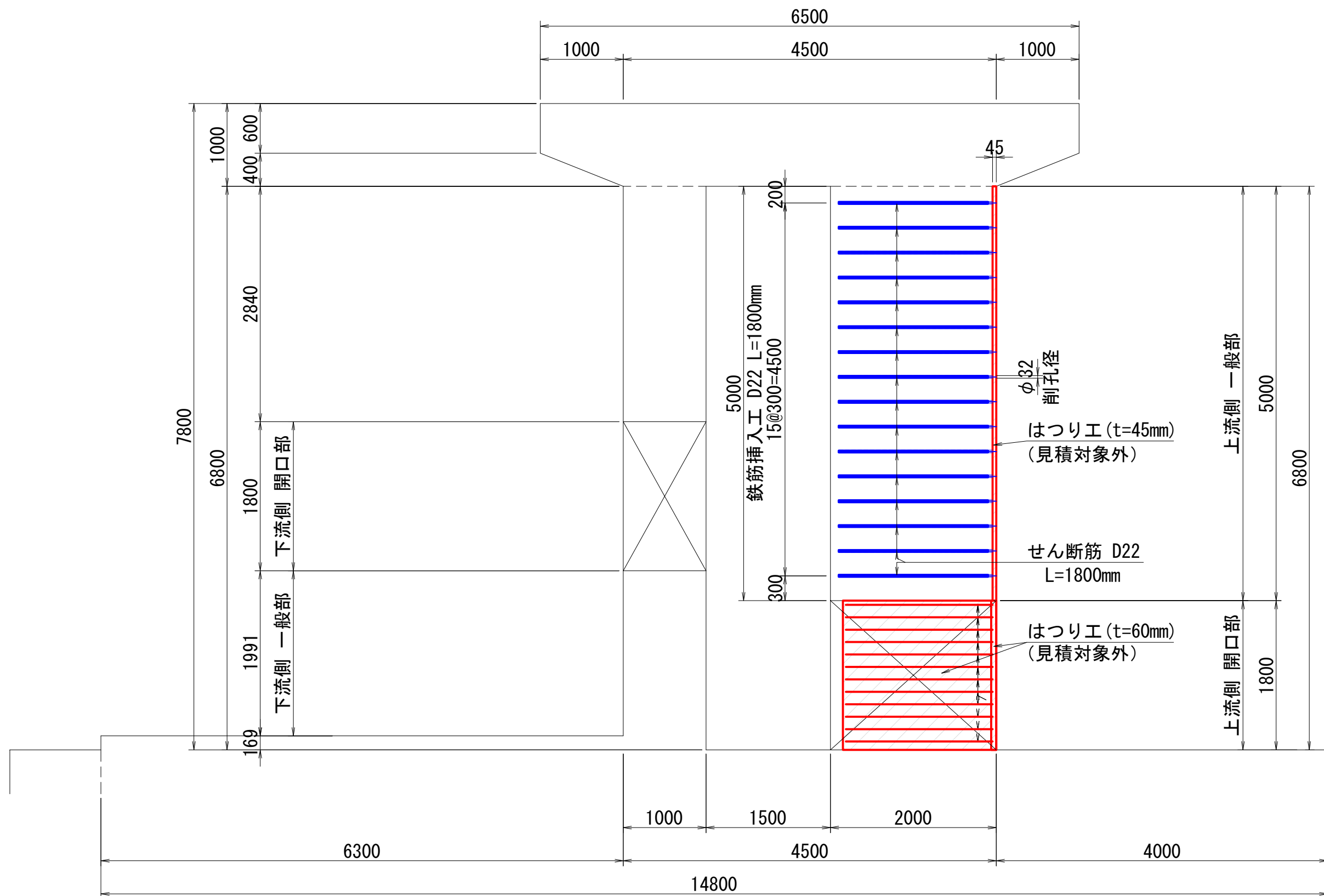
整理番号

独立行政法人水資源機構旧吉野川河口堰管理所

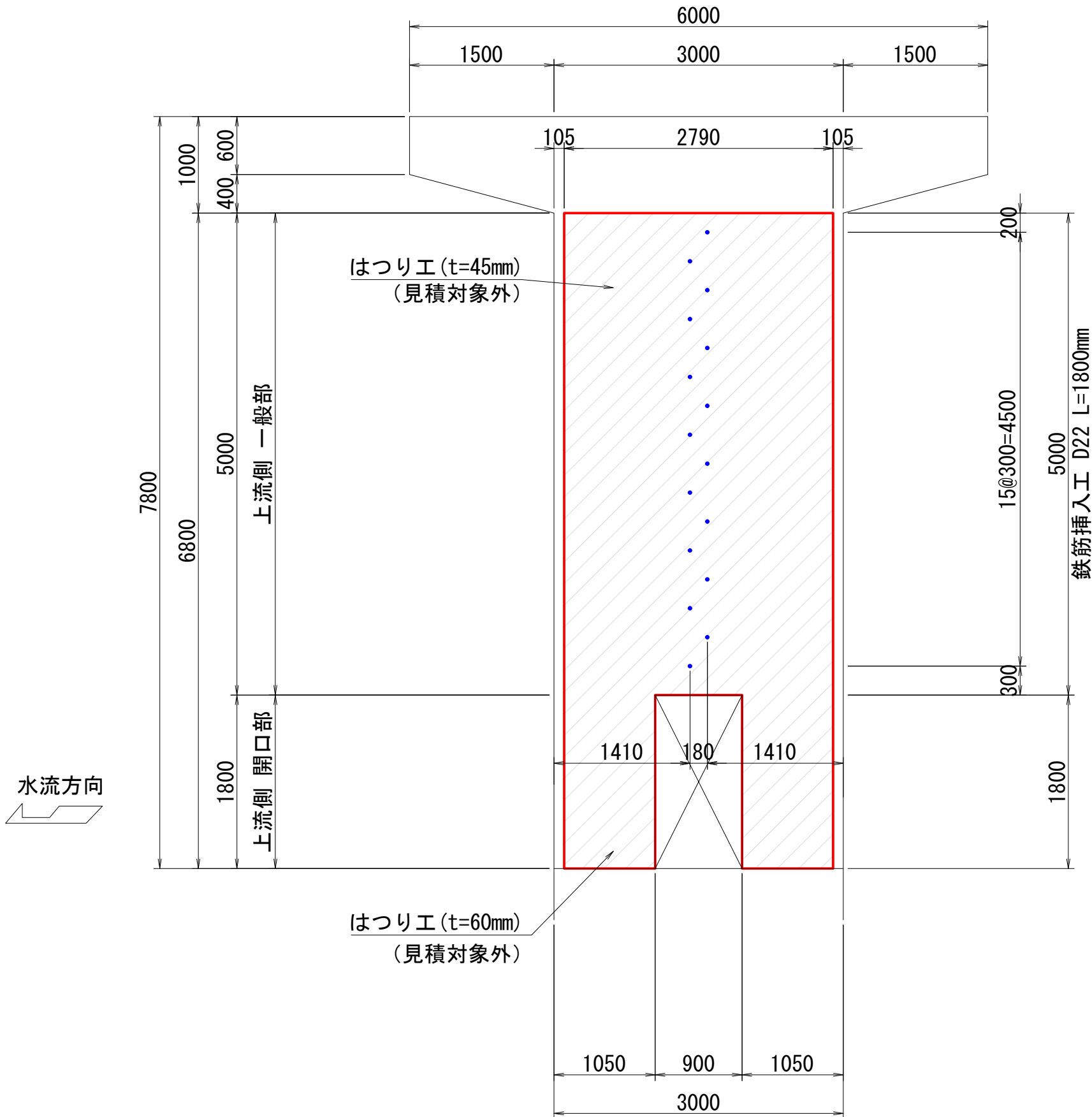
上流閘門(K1・K2堰柱)補強詳細図(1) S=1:50

今切川河口堰 門柱

A - A



B - B



特記事項)

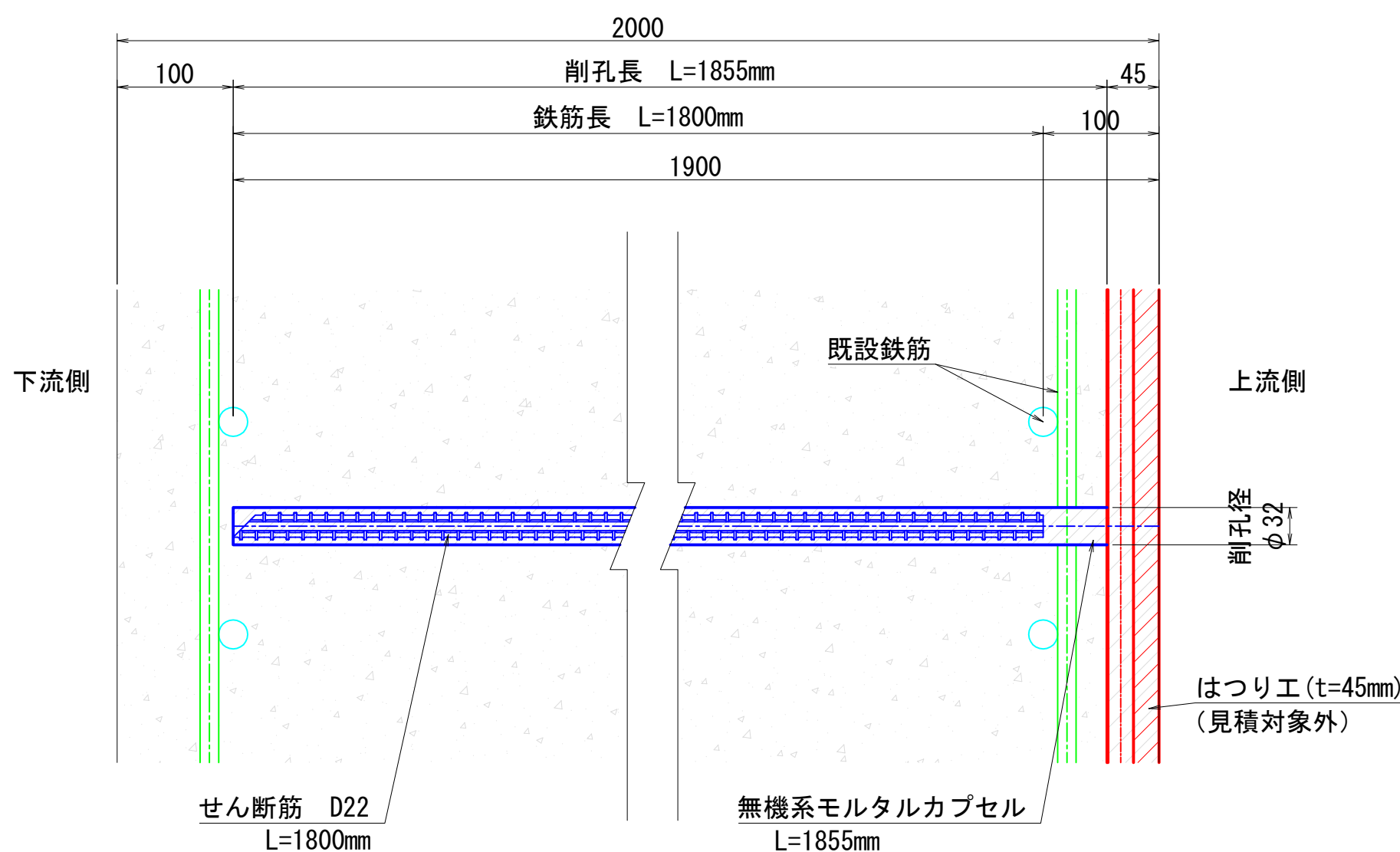
1. 施工は鉄筋探査を行い、既設鉄筋の位置を確認の上で行うこと。
2. 削孔位置が既設鉄筋等に干渉する場合は、施工時に現にて削孔位置を調整すること。
削孔位置を調整する場合は、以下の鉄筋間隔を守り、位置の調整を行う。
・門柱の鉄筋挿入工は、300mmピッチの間隔内に設置するものとし、水流直角方向に位置を調整すること。

凡 例

	はつり工（見積対象外）
	鉄筋挿入工

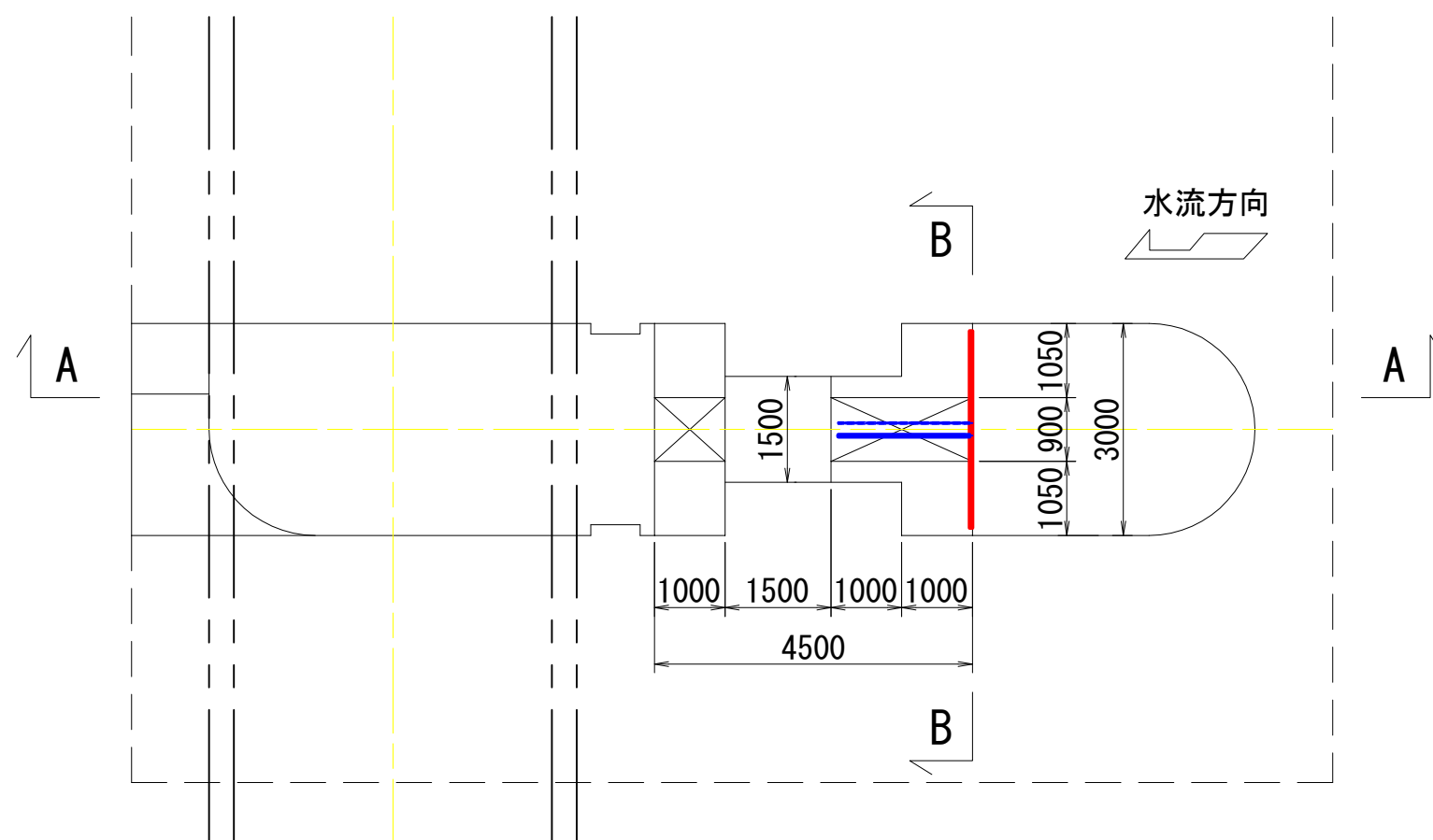
せん断筋設置詳細図

S=1:5



※本図面は、RMA工法による後施工せん断補強鉄筋を基に設計・作図している。工法変更を行う場合は、鉄筋径・本数の見直しを行うこと。
上流側の45mmは別件にてはつり工を行いますので、見積は、はつりされているものとして算出してください。

KEYPLAN



今切川河口堰

工事名 河口堰門柱耐震対策工事（仮称）

名 称 上流閘門(K1・K2堰柱)補強詳細図(1)

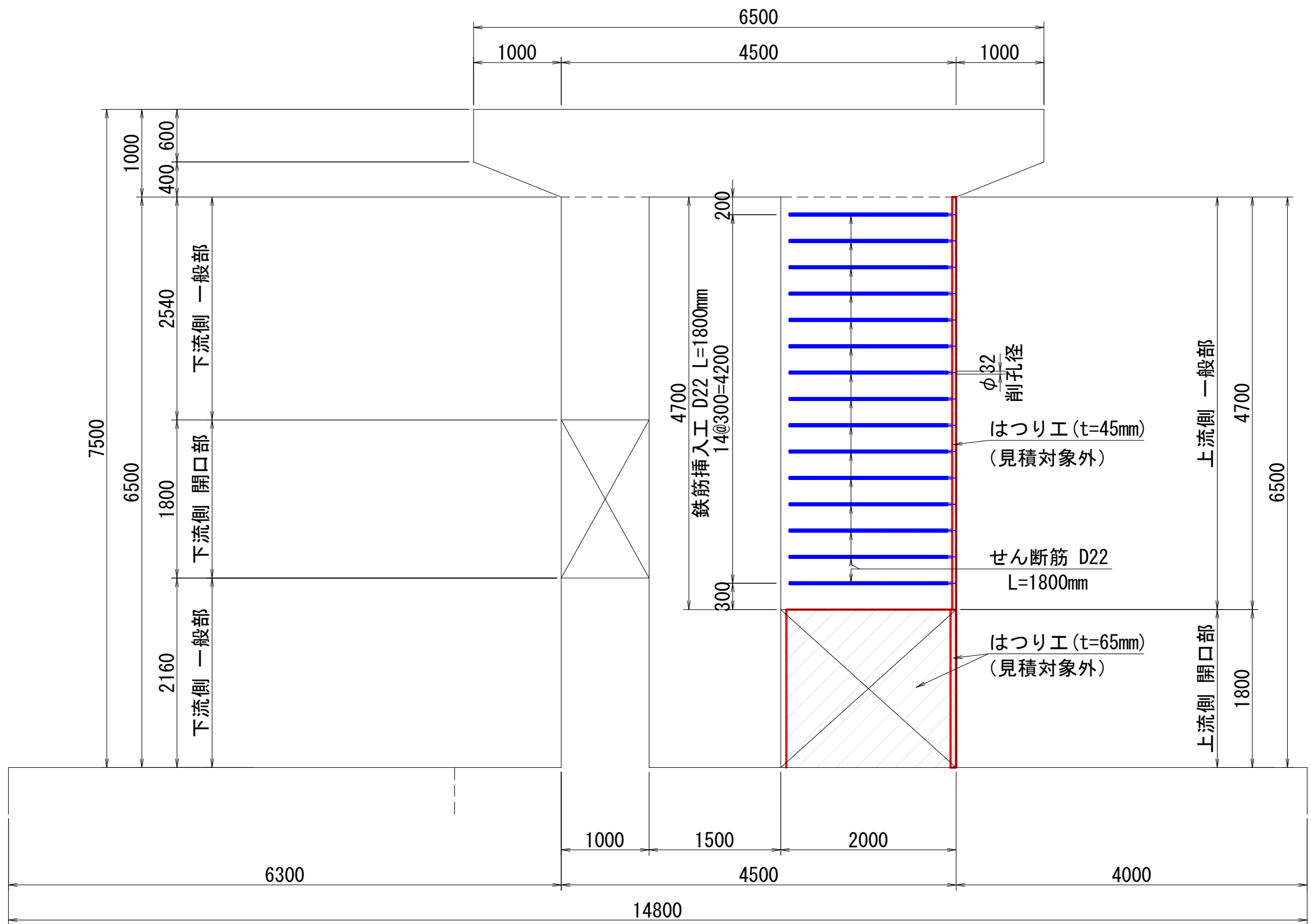
登録番号 整理番号

独立行政法人水資源機構旧吉野川河口堰管理所

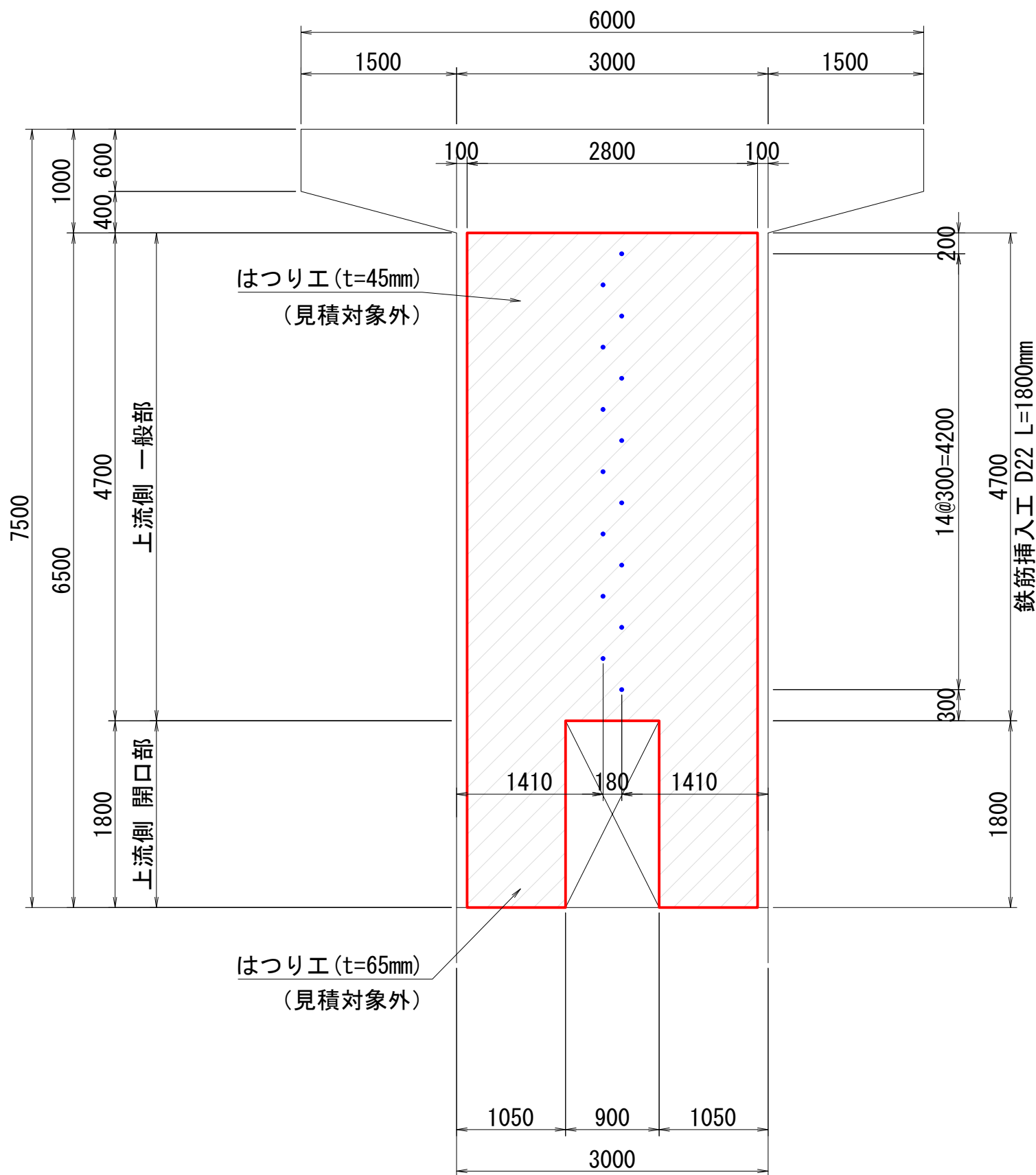
P1～P7堰柱補強詳細図 S=1:50

今切川河口堰 門柱

A - A



B - B



特記事項)

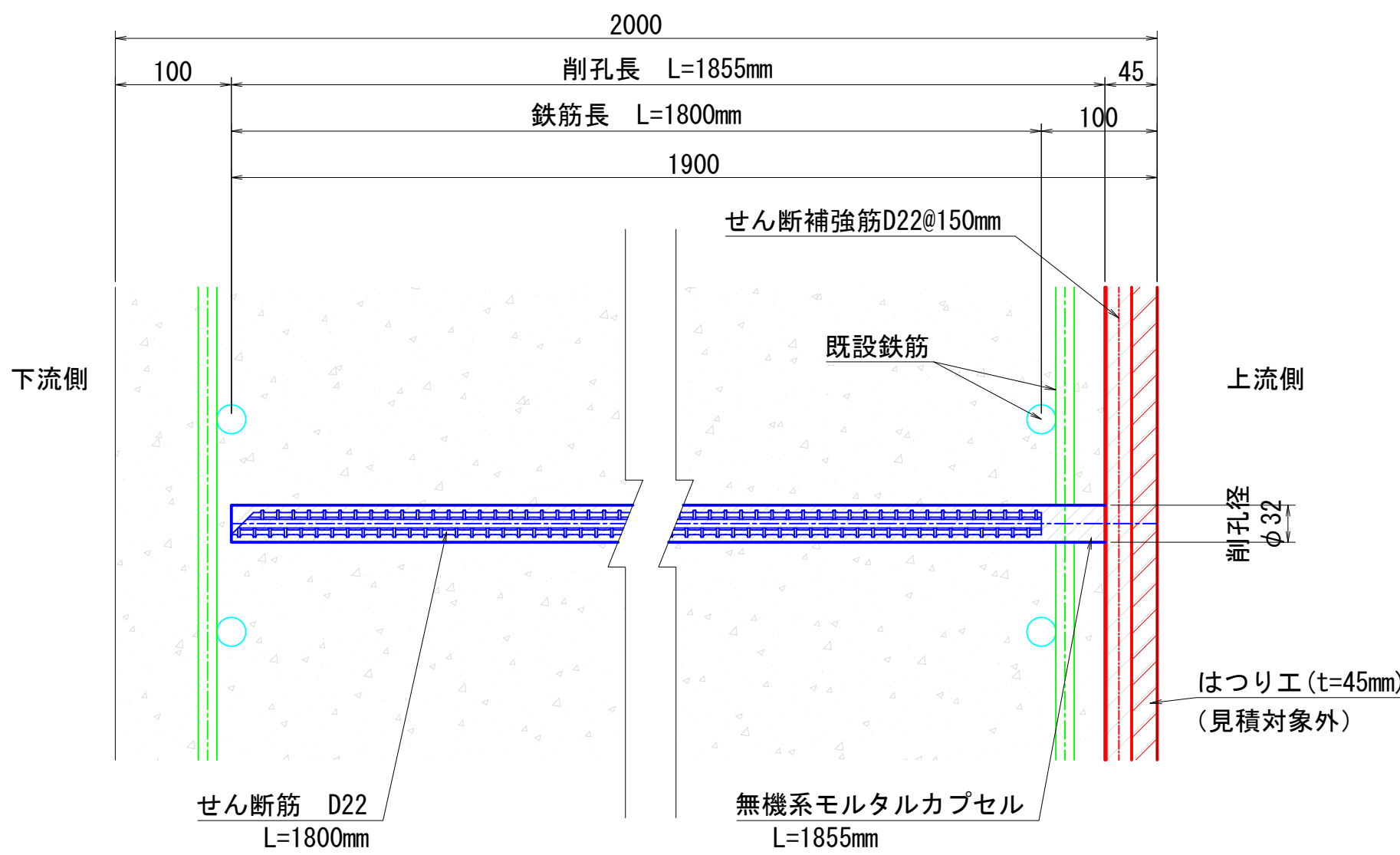
1. 施工は鉄筋探索を行い、既設鉄筋の位置を確認の上で行うこと。
2. 削孔位置が既設鉄筋等に干渉する場合は、施工時に現場にて削孔位置を調整すること。
削孔位置を調整する場合は、以下の鉄筋間隔を守り、位置の調整を行う。
・門柱の鉄筋挿入工は、300mmピッチの間隔内に設置するものとし、水流直角方向に位置を調整すること。

凡 例

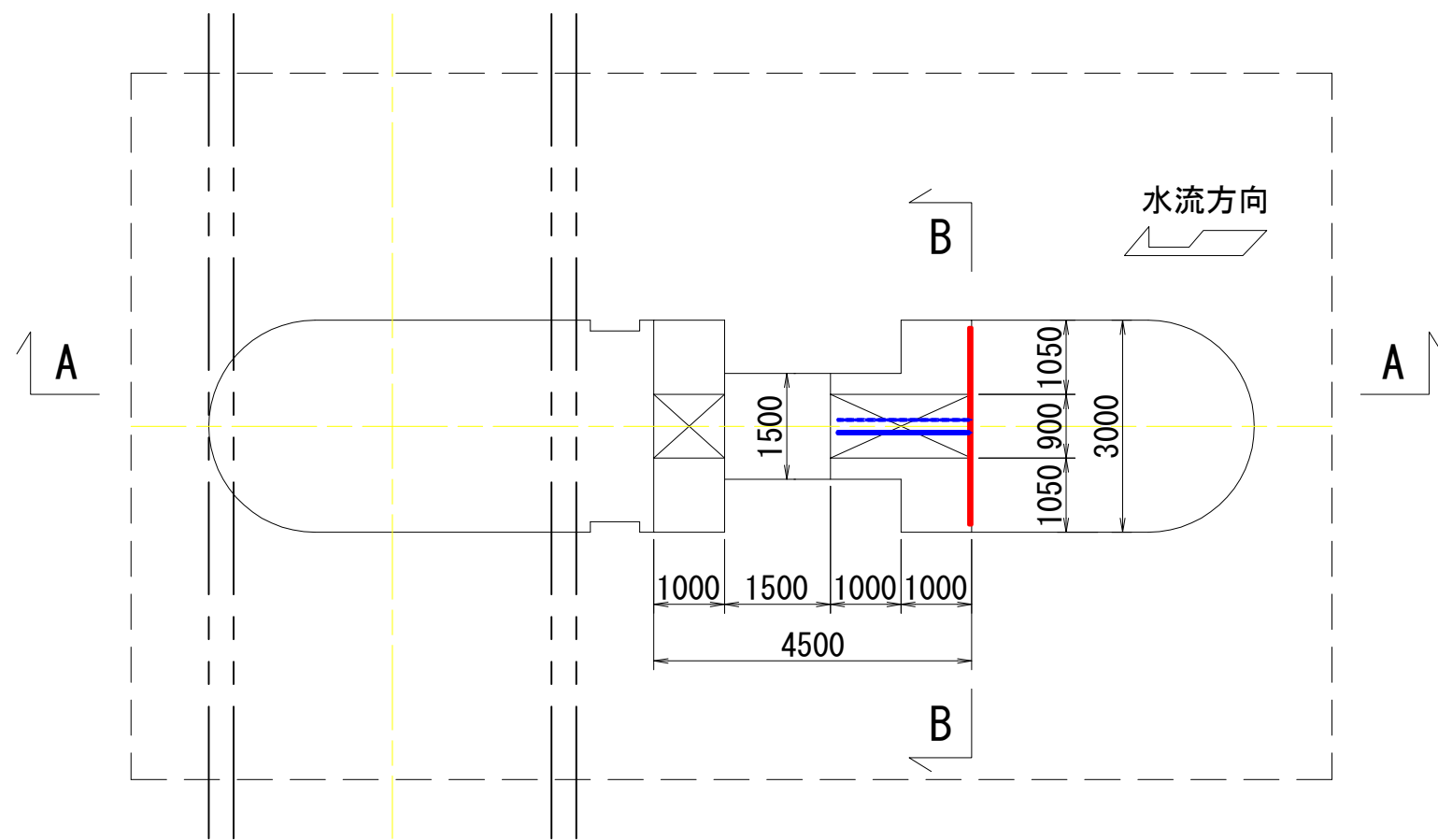
	はつり工（見積対象外）
	鉄筋挿入工

せん断筋設置詳細図

S=1:5



KEYPLAN



※本図面は、RMA工法による後施工せん断補強鉄筋を基に設計・作図している。工法変更を行う場合は、鉄筋径・本数の見直しを行うこと。

上流側の45mmは別件にてはつり工を行いますので、見積は、はつりされているものとして算出してください。

今切川河口堰

工事名 河口堰門柱耐震対策工事（仮称）

名 称 P1～P7堰柱補強詳細図

登録番号

整理番号

独立行政法人水資源機構旧吉野川河口堰管理所